



2027年5月期 第1四半期決算 Results Briefing FY2026 1Q

2026年9月18日

コーセル株式会社

東証プライム 6905

2027年5月期 第1四半期実績

売上高・営業利益

売上高・営業利益ともに前年同期比で増収増益

売上高

国内

- ・ 旺盛なAI関連の需要を背景に、半導体製造装置関連の需要増加が継続
- ・ FA関連を中心に、顧客の在庫消化が進み回復
- ・ 前期までに開発した新製品の拡販効果

海外

アジア 中国景気の低迷による先行きの不透明感が残るものの、半導体製造装置需要が好調に推移

北米 回復傾向

欧州 低調な需要が継続

営業利益

売上高の増加と工場稼働率の改善により、前年同期比で黒字転換

受注高

- ・ 生成AI用半導体製造装置関連の受注増加が継続
- ・ FA関連は、顧客の在庫消化に加え、AI関連需要増により堅調に推移

第1四半期の実績サマリーです。

連結業績は、売上高・営業利益ともに前年同期比で増収増益となりました。

売上高は、AI関連の需要を背景に、半導体製造装置向け製品の需要増加が継続しました。

また、FA関連を中心に顧客の在庫消化が進み、新製品の拡販効果もあり、売上高の増加に寄与しました。

詳細は本資料5ページを参照ください。

営業利益は、売上高の増加と工場稼働率の改善が主な要因です。

詳細は本資料6ページを参照ください。

受注高については、今期1Qは急回復しました。

生成AI用半導体製造装置関連の受注増加が継続している状況です。

FA関連については、顧客の在庫消化に加え、AI関連の需要増加により堅調に推移しました。

詳細は本資料7～9と13ページを参照ください。

第1四半期実績



- 売上高 ・ 旺盛なAI関連需要を背景に、半導体製造装置関連の需要増加が継続
 ・ FA関連を中心に顧客の在庫消化が進み、回復基調
 営業利益 ・ 売上高の増加と工場稼働率の改善により、前年同期・前四半期と比較して大きく改善

(単位：百万円)	FY2025 1Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	前年同期比		直前四半期比	
				増減	%	増減	%
売上高	5,075	7,700	7,814	+2,739	+54.0%	+114	+1.5%
売上総利益	1,297	1,999	2,324	+1,027	+79.1%	+325	+16.3%
販管費	1,687	1,796	1,779	+91	+5.4%	▲16	▲0.9%
営業利益	▲389	203	545	+935	-	+342	+168.2%
営業利益率	▲7.7%	2.6%	7.0%	+14.7pt	-	+4.4pt	-
経常利益	▲79	258	580	+659	-	+322	+124.8%
経常利益率	▲1.6%	3.4%	7.4%	+9.0pt	-	+4.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲68	▲3,165	661	+730	-	+3,827	-
USD / JPY	145.38	157.84	160.72	+15.34	-	+2.88	-
EUR / JPY	167.20	184.41	185.24	+18.04	-	+0.83	-
SEK / JPY	15.15	17.16	16.90	+1.75	-	▲0.26	-

為替感応度 営業利益 (1円変動 / 年)
 対USD：約15百万円
 対EUR：約 5百万円

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

4

第1四半期の連結実績です。

売上高は78億14百万円となり、前年同期比で27億39百万円、54.0%の増収、

営業利益は5億45百万円となり、前年比で9億35百万円の増益、営業利益率7.0%となりました。

売上高の増加要因は、AI関連の需要を背景とした半導体製造装置向け製品の前期からの受注増加をもとに、今期1Qの売上高に結び付いた結果によるものです。

また、FA関連を中心とした顧客の在庫消化が進み、新製品の拡販効果も合わせ、これらも売上高に寄与しました。

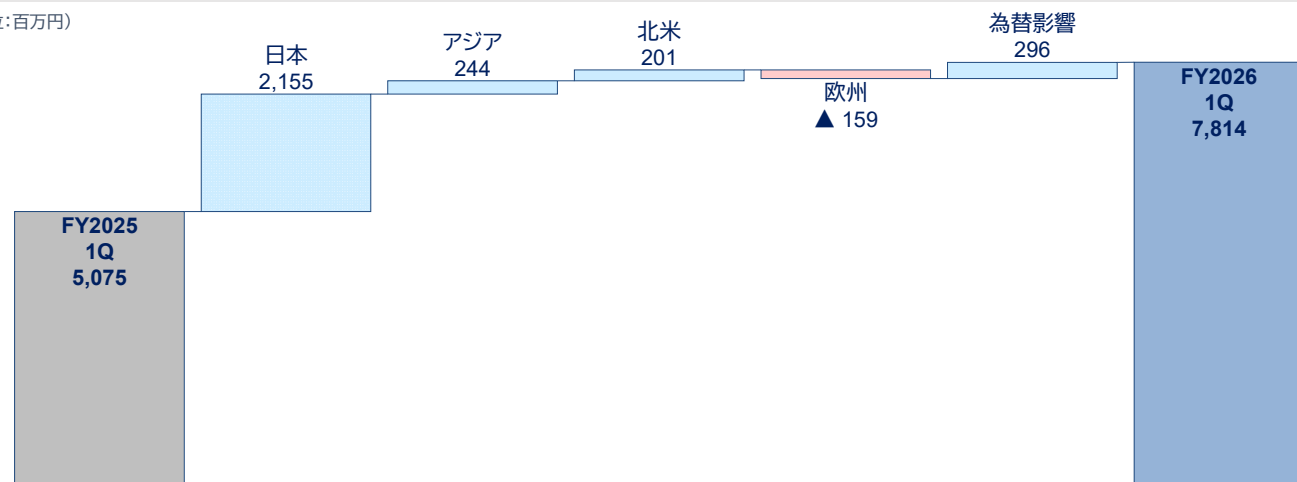
営業利益については、売上高の増加と工場稼働率の改善が主な要因です。

当期純利益は6億61百万円となり、前年同期比・直前四半期比ともに黒字に転じました。

売上高増減[前年同期比]

売上高 : 78億14百万円(前年同期比 +27億39百万円 +54.0%)
 日本 : 顧客の需要回復と在庫消化が進み、堅調に増加
 アジア : 直近受注の回復に伴い増加
 北米 : 需要回復により増加
 欧州 : 低調な需要が継続

(単位:百万円)



前年同期比での売上高の地域別増減です。

日本での売上が大きく増加、アジアと北米は微増、欧州は低調な需要が継続しました。

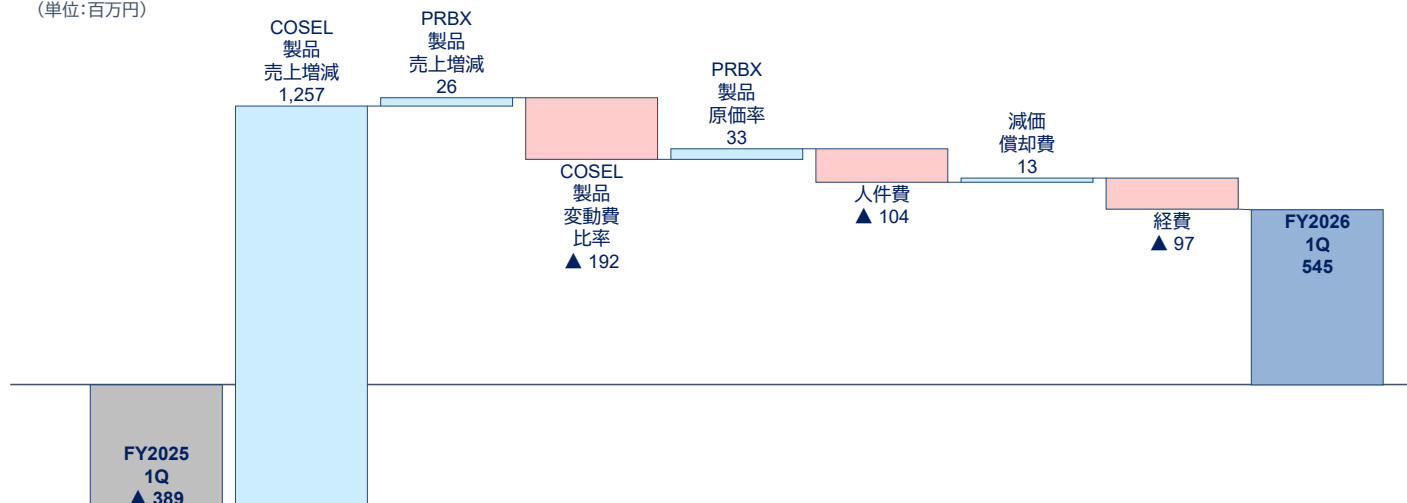
結果として、全体では27億39百万円、54.0%の増収となりました。

営業利益増減[前年同期比]



営業利益：5億45百万円(前年同期比 +9億35百万円)
売上高の増加と工場稼働率の改善により、大きく改善

(単位:百万円)



PRBX:Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

6

前年同期比での営業利益の増減要因です。

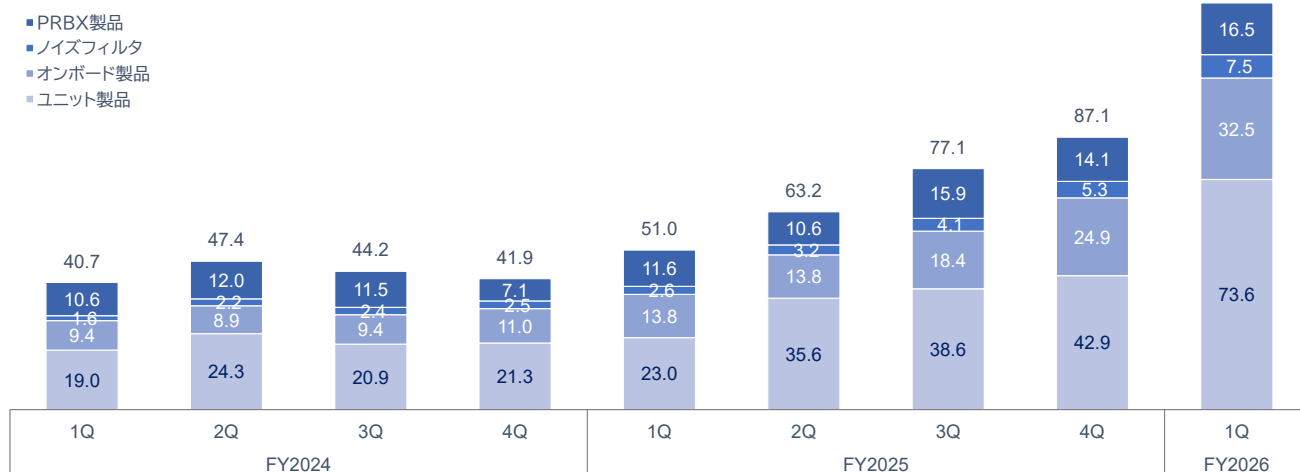
売上高の増加が一番大きく影響しました。
諸物価の高騰等による変動費や人件費の増加がありましたが、売上高の増加に伴う工場稼働率の改善もあり、5億45百万円の営業利益となりました。

受注高推移[製品別]

- ・ 過年度の受注増加の反動により調整局面が続いていたが、FY2025 1Q以降から回復
- ・ 生成AI用半導体製造装置関連の受注が急回復
- ・ FA関連の在庫消化が進み、FY2025 3Q以降は想定以上に回復

(単位:億円)

四半期毎の受注高推移



PRBX: Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

7

製品別の受注高推移です。

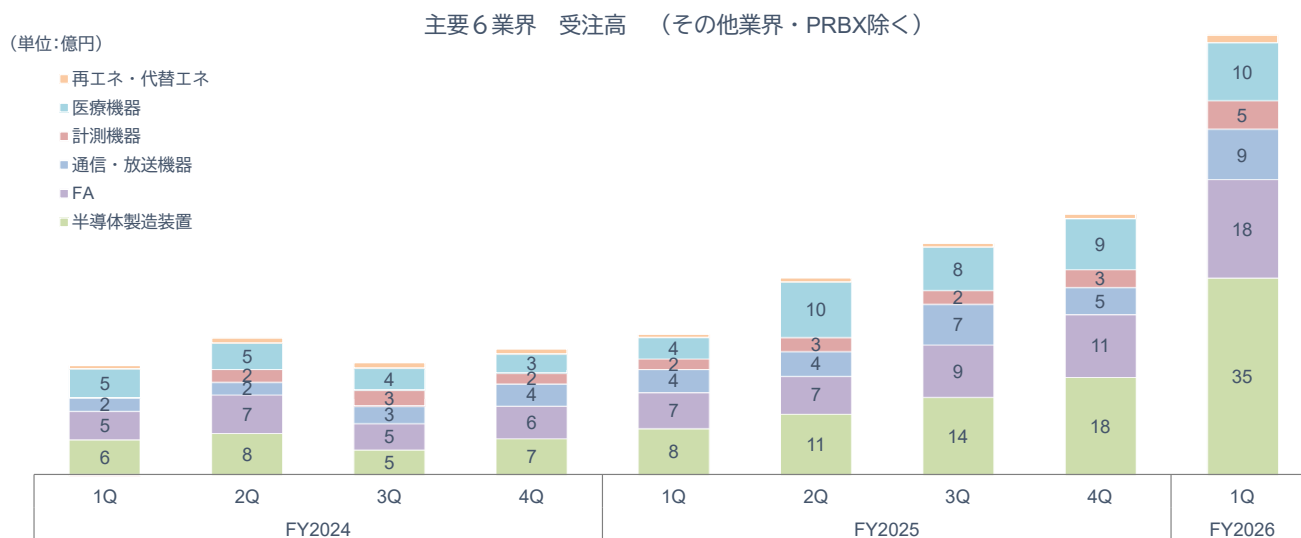
2024年度までは、過年度の受注増加の反動で調整局面が続き、顧客および販売代理店での流通在庫の未消化により、新規受注が減少していました。

2025年度の1Qから回復傾向に転じており、その主な要因は、生成AI用半導体製造装置向けの受注増加が継続、またFA・医療・通信機器向けの在庫消化が進んでいることによるものです。

今期1Qはそれらが急回復し、大きな伸びを示しました。

受注高推移[主要業界別]

生成AI用半導体製造装置業界からの受注が需要旺盛となり急回復
FA、通信・放送機器、計測機器、その他の業界向けも堅調に回復



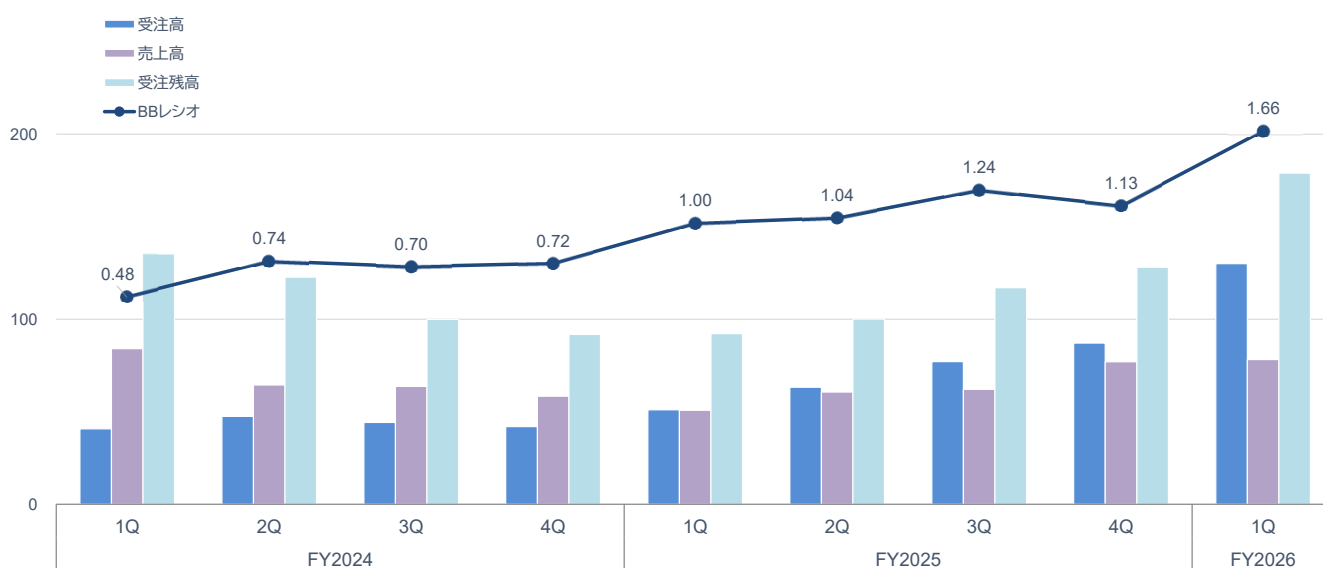
PRBX: Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

主要6業界の受注高推移です。

2025年度の1Qから段階的に増加しています。
特に半導体製造装置向けの増加は、その顧客装置メーカーの製品が生成AI用のメモリー製造メーカー向けに好調なことが要因です。

受注高・受注残高・BBレシオ推移

(単位:億円・倍)



Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

9

受注高・売上高・受注残高・BBレシオを表したグラフです。

BBレシオは、2025年度の1Qから1倍を超える水準に戻ってきています。

3Qに比べて4QのBBレシオが減少しているのは、受注が売上に結び付いてきたことによるものです。

今期1QのBBレシオは、1.66倍と大きく伸びました。

今期2Q以降の見通しについては、本日公表の通期業績予想の上方修正開示に合わせて、受注高・受注残高を見直しています。

詳細は本資料13ページをご参照ください。

連結貸借対照表



総資産 617億4百万円(+11億27百万円)
 現預金 266億9百万円(▲17億61百万円)

自己資本比率 84.0%(▲2.1pt)
 棚卸資産 97億44百万円(+5億30百万円)

(単位:百万円)	2026年5月期 (2026/5/20)	2027年5月期1Q (2026/8/20)	増減
現金及び預金	28,370	26,609	▲ 1,761
受取手形及び売掛金	7,147	7,767	619
電子記録債権	1,610	1,957	347
棚卸資産	9,213	9,744	530
流動資産 計	48,566	48,352	▲ 214
有形固定資産	7,997	9,193	1,196
無形固定資産	1,027	965	▲ 61
投資その他の資産	2,985	3,192	207
固定資産 計	12,009	13,352	1,342
資産 合計	60,576	61,704	1,127

	2026年5月期 (2026/5/20)	2027年5月期1Q (2026/8/20)	増減
買掛金	1,430	2,008	578
未払金	398	1,829	1,430
流動負債 計	4,304	5,956	1,652
繰延税金負債	937	1,120	183
固定負債 計	4,109	3,911	▲ 197
負債 合計	8,413	9,868	1,455
株主資本	48,351	47,861	▲ 490
その他の包括利益累計額	3,812	3,974	162
純資産 合計	52,163	51,836	▲ 327
負債・純資産 合計	60,576	61,704	1,127
自己資本比率	86.1%	84.0%	▲2.1pt

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

10

貸借対照表の概要です。

総資産は617億4百万円、自己資本比率は84.0%です。
 棚卸資産は、受注増加により5億30百万円の増加となりました。

2027年5月期 通期業績予想 (上期業績及び下期業績の修正)

通期業績予想(上方修正)

通期予想 売上高 営業利益 半導体製造装置関連の需要増、製品値上げ、新製品効果により増加
材料コスト高騰分の製品価格転嫁による収益改善

(単位：百万円)	〔前回 6月19日発表〕 FY2026			〔今回 9月18日発表〕 FY2026			前回予想比 増減		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期予想	下期予想	通期予想	上期	下期	通期
売上高	14,201	14,674	28,875	15,380	16,420	31,800	+1,179	+1,746	+2,925
営業利益	304	1,031	1,335	970	1,330	2,300	+666	+299	+965
営業利益率	2.1%	7.0%	4.6%	6.3%	8.1%	7.2%	+4.2pt	+1.1pt	+2.6pt
経常利益	412	1,127	1,539	1,030	1,370	2,400	+618	+243	+861
経常利益率	2.9%	7.7%	5.3%	6.7%	8.3%	7.5%	+3.8pt	+0.7pt	+2.2pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	562	1,042	1,604	1,430	1,170	2,600	+868	+128	+996
EPS	13.66円	-	38.99円	34.76円	-	63.21円	+21.10円	-	+24.22円
ROE	-	-	3.1%	-	-	5.0%	-	-	+1.9pt

2Q以降の予想為替レートは変更なし
対USD 155.00円
対EUR 182.50円

Copyright © 2026 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

12

2026年6月19日公表の2027年5月期業績予想を修正しました。

通期の売上高は、前回予想比で29億25百万円の増加で318億円、
営業利益は、9億65百万円の増加で23億円、営業利益率は7.2%を予
想しています。

また、当期純利益は9億96百万円増加の26億円に修正しました。

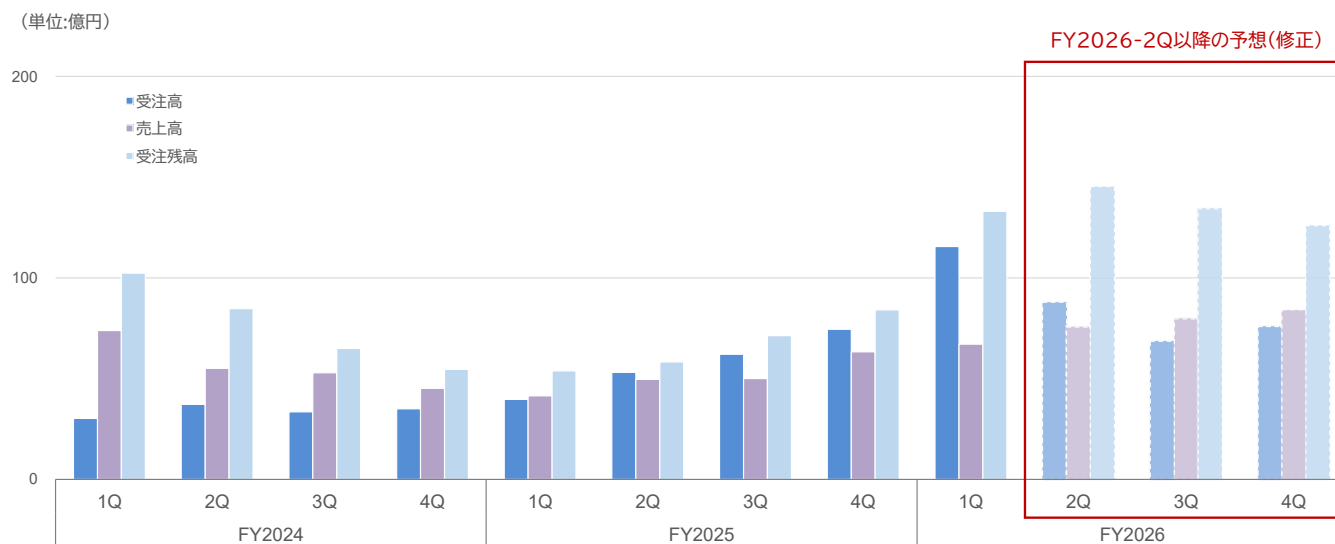
半導体製造装置関連の需要増加の継続、今期2Qからの製品の値上げ効
果、前期までに開発した新製品の拡販効果がけん引し、売上高が増加す
る見込みです。

営業利益については、売上高の増加の内容が利益に結び付く見込みで
す。

なお、Powerboxの株式譲渡による連結除外の業績を織り込んでいま
す。

受注高・売上高・受注残高予想(PRBXを除く)

1Qは半導体製造装置関連の需要増加、顧客の在庫消化と先行手配により受注急増
2Q以降は調整が入るが、通期では過熱感なく安定した受注が継続する見通し



PRBX: Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

Copyright © 2026 COSEL CO., LTD. All rights reserved.

2027年5月期 第1四半期決算 説明資料

13

今期の受注見通しです。

半導体製造装置関連の受注増加、加えてFAや医療機器向けの在庫消化が進んだことにより、受注は堅調に増加する見通しです。

今1Qは、半導体製造装置関連の需要増加、顧客の在庫消化による受注増加、顧客の先行手配による受注急増といった状況となりました。
2Q以降については、1Qの受注急増から落ち着く見通しで、過熱感なく安定した受注が継続すると予想しています。

株主還元

累進配当の継続とDOE水準の引き上げに伴う配当金の増配

前年比で年間5円の増配とし、中間配当と期末配当を合わせて年間60円の配当金

株主優待制度の導入

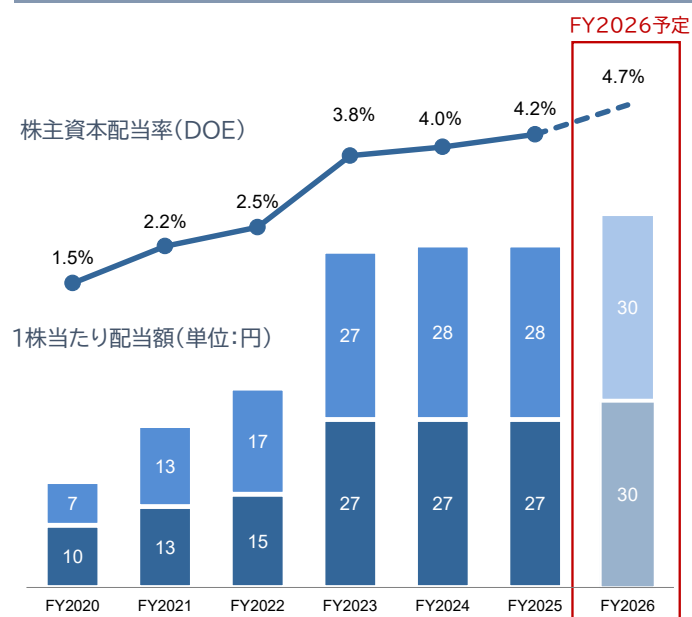
初回に限り、2026年11月20日および2027年5月20日現在の当社株主名簿に、
連続2回記録された300株以上を保有の株主様が対象となります
詳細は、2026年6月19日公表「株主優待制度導入に関するお知らせ」をご覧ください

株主還元の強化について説明します。

当社は、中長期的な企業価値の向上と株主の皆様への還元の充実を、経営における重要課題の一つと位置付けています。

11次中期計画では、これまでの累進配当方針を継続します。
また、株主還元のさらなる充実を図るため、2026年6月19日公表の通り、配当水準を示す指標であるDOE(株主資本配当率)の下限を、従来の3.5%から4.5%へと引き上げました。
これにより、資本市場からの信頼向上を通じて、資本コストの抑制を図っていきます。

2027年5月期は年間60円の配当とさせていただく予定(前年比 年間5円増配)



配当方針

- 継続的・安定的な配当の実施
DOE 4.5%以上
- 累進配当(原則として減配せず配当の維持もしくは増配を行う配当政策)
- 成長のための将来投資とのバランスを考慮しながら、資本効率向上を目指した機動的な株主還元

配当実績と予想(1株当たり)

2026年5月期実績

中間配当 27円 + 期末配当 28円:通期 55円

2027年5月期予想

中間配当 30円 + 期末配当 30円:通期 60円

FY2026より配当方針(DOE水準)を変更
変更前:DOE 3.5% → 変更後:DOE 4.5%

配当金について、2026年6月19日に公表した、今期の配当金の見通しと変更はありません。

前期の配当金は、通期で55円の配当を実施しました。

今期2027年5月期の配当見通しは、1株当たり中間配当30円、期末配当30円とし、年間で60円を予定しています。

これにより、前期から5円の増配をさせていただく予定です。

株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えするため、
当社の株式を1年以上継続して保有された株主さまを対象に
株主優待制度を実施いたします

初回に限り、2026年11月20日および2027年5月20日現在の当社株主名簿に
連続2回記録された300株以上を保有の株主様が対象となります

優待制度の内容につきましては、株主の皆さまにご満足していただくとともに、
当社の地元・富山の地に貢献したいとの思いから、富山県を中心とした北陸地方の食料品や
工芸品をはじめとする特産品をご用意させていただきます

詳細は、2026年6月19日公表「株主優待制度導入に関するお知らせ」をご参照ください

株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度を導入
します。

初回に限り、2026年11月20日と2027年5月20日現在の株主名簿
に2回連続で記録された、300株以上を保有の株主様が対象になりま
す。

その後は、毎年5月20日時点で1年以上にわたり、継続して300株以上
の株式を保有された株主様が対象になります。

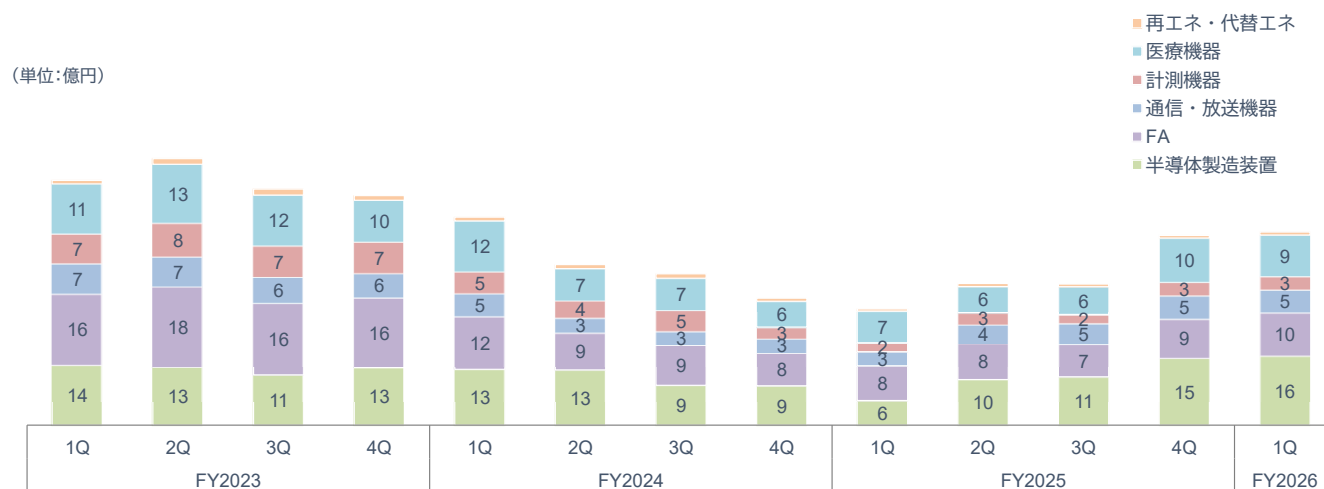
詳細につきましては、2026年6月19日公表の「株主優待制度導入に関
するお知らせ」をご参照ください。

参考資料

売上高推移[主要業界別]



主要6業界 売上高 (その他業界・PRBX除く)



PRBX:Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

四半期業績推移

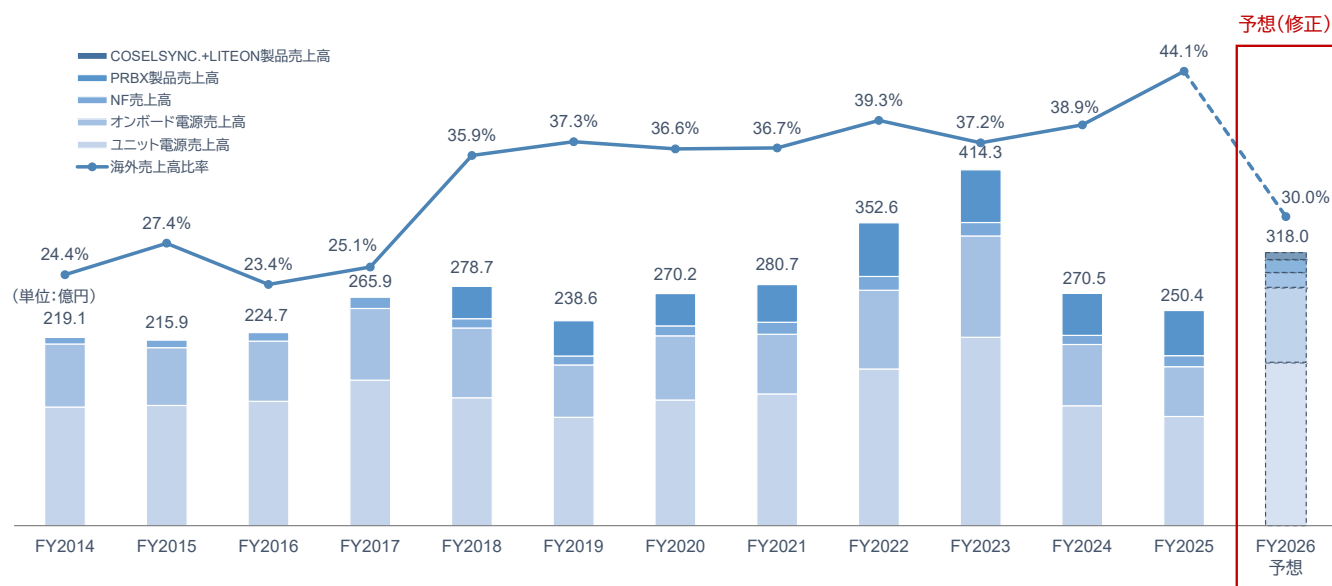


(単位：百万円)	FY2023				FY2024				FY2025				FY2026
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	10,390	11,211	9,919	9,915	8,409	6,445	6,361	5,835	5,075	6,058	6,211	7,700	7,814
売上総利益	3,593	3,830	3,380	2,939	2,437	1,611	1,667	1,491	1,297	1,299	1,438	1,999	2,324
販管費	1,529	1,675	1,607	2,018	1,859	1,555	1,571	1,593	1,687	1,569	1,678	1,796	1,779
営業利益	2,063	2,154	1,772	921	578	55	95	▲102	▲389	▲269	▲239	203	545
営業利益率	19.9%	19.2%	17.9%	9.3%	6.9%	0.9%	1.5%	▲1.8%	▲7.7%	▲4.5%	▲3.9%	2.6%	7.0%
経常利益	2,268	2,629	1,824	1,126	464	129	45	101	▲79	196	▲107	258	580
経常利益率	21.8%	23.5%	18.4%	11.4%	5.5%	2.0%	0.7%	1.7%	▲1.6%	3.2%	▲1.7%	3.4%	7.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,682	1,856	1,118	511	293	▲14	2	▲395	▲68	62	▲234	▲3,165	661

連結売上高・海外売上高比率(修正)

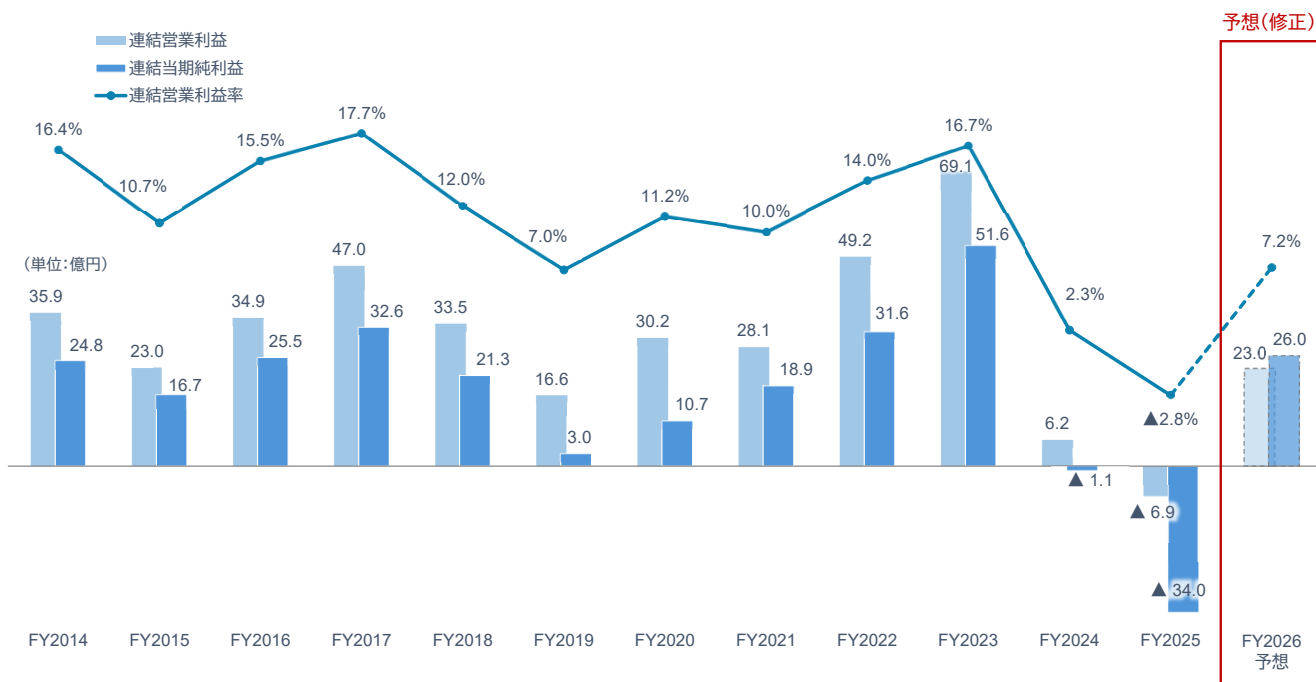


FY2026は、PRBX連結除外による海外売上高比率の低下



PRBX:Powerbox International AB(スウェーデン)、2026年9月1日付で連結子会社から除外

連結利益(修正)





将来に関する記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。